



DNW-23019 の概要

課題名 : 単球・マクロファージを標的とした心筋梗塞後左室リモデリング
に対する革新的抗炎症薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

古賀 純一郎 (学校法人産業医科大学医学部)

ステージ: 標的検証後期

【標的疾患】

心筋梗塞後心不全

【創薬標的】

疾患発症に関わる分子 X

【創薬コンセプト】

分子 X の機能を標的とした核酸を、心臓炎症部位に送達可能なようにデザインした製剤として投与し、心筋梗塞後の予後不良のサインである左室リモデリングを抑制する。

【モダリティの設定】

核酸

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI らは、マウス心筋梗塞モデルで有効性を確認した分子 X に対する核酸を心臓炎症部位に効率的に送達できるようにデザインした製剤を設計し、その効率的な産生系を確立した。
- 2) 本製剤の細胞レベルでの有用性は確認済みである。

【支援ステージにおける目標】

非臨床試験に使用する製剤の製法を確立し、*in vivo* 評価により創薬コンセプトを検証する。開発上の大きなリスクが見出されない場合は、企業への導出活動を行う。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。